

H27(2015).3

地域と共にある学校づくり

# 信州型コミュニティスクール

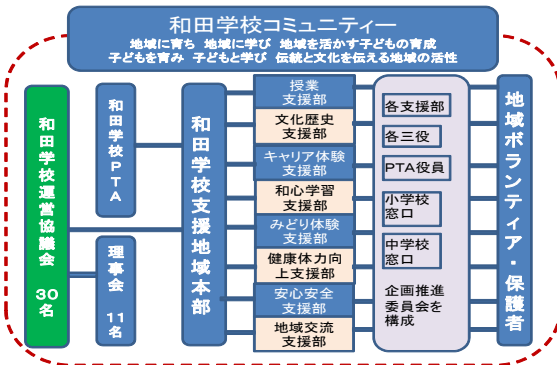
取組事例編 3

長野県教育委員会

今年一年、県内の多くの学校で信州型コミュニティスクール（以下「信州型CS」）に向けた取組をしていただきました。今回は、信州型CSの仕組みを整えた学校から、どのように仕組みを生かしているか、長和町立和田中学校と松本市立高綱中学校の取組を紹介させていただきます。

## 「ふるさとを知り、愛しみ、語り・誇れる生徒」の育成をめざし、学校と地域が一体となった活動 ～長和町立和田中学校～

少子高齢化が進み、地域も学校も活気が失われつつあった長和町和田地区では、学校を核として「地域も学校も元気になってほしい」という願いから、「地域と歩む学校づくり」を進めてきました。



### 1 和田学校コミュニティの組織

長和町和田地区では、左図にある和田学校コミュニティという組織を立ち上げ、地域ぐるみで保・小・中一貫の教育が進められています。そこでは学校運営及び評価を行う学校運営協議会と学校支援を行う学校支援地域本部が両輪となって和田地区の教育を支えています。このシステムは信州型CSのモデルとなったものです。

### 2 アントレプレナーシップ（略称アントレ）学習の様子から

「地域と歩む学校づくり」の一例として和田中学校のアントレ学習を紹介します。アントレ学習は和田中学校におけるキャリア教育の集大成と位置づけており、生徒の発想力、想像力、問題解決能力、情報収集能力、チームワーク等の育成をねらっています。およその流れは、生徒が地域の方々から和田の歴史・文化・自然を学ぶことや職場体験を行い、その後、地域の実態に関する学習テーマに沿って縦割りグループで企画開発等の学習を進めていきます。そして、長野大学の先生の指導でプレゼン資料やポスターを作成し、地域の方の前でポスターセッションを行うものです。

今年度は「和田から発信するイベント開発」というテーマに沿って6つのグループに分かれて学習が進められました。発表会ではプレゼンやポスターの出来ばえもさることながら、生徒は地域の方々の質問に対して堂々と答えていました。また、地域の方々は、生徒に対して、温かい言葉がけをしていたのが印象的でした。

このようなアントレ学習をはじめ、「地域と歩む学校づくり」を進めることで下記の効果が生まれています。

【生徒】郷土愛や人を思いやる気持ちが育まれ、自尊感情や表現力、コミュニケーション能力が高まっている。

【学校】様々な体験学習が仕組み、生徒の豊かな学びを生み出すことができている。

【地域】生徒に必要とされていると実感することで、学校支援が生き甲斐になっている方が増えている。

（東信教育事務所生涯学習課 指導主事 佐々木哲也）



プレゼンのポスター

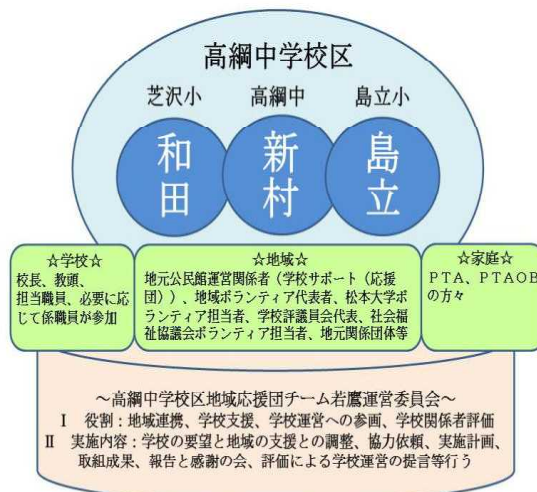
## 地域と学校が元気になり、笑顔でいきいき活動できる地域の学校づくり…

### ～松本版・信州型CSをスタートさせた松本市立高綱中学校～

プログラムガイド集No. 5で、信州型CSの仕組づくりを紹介した松本市立高綱中学校。平成25年度からの準備期間を経て、信州型CSがスタートしました。

#### 1 中学校区での地域連携を大切にしたい仕組み

高綱中学校区は、右図の様に3地区からなり、それぞれに学校が存在し、それぞれで活動が行われていました。信州型CS導入にあたっては、中学校区での地域連携を大切にしたい運営委員会が組織されました。“学校と地域が「こんな子どもを育てたい」という願いを共有し、一体となって…”という、信州型CSの理念そのものが位置づく仕組みとなりました。運営委員会は、学区にある3地区の公民館をはじめ関係者が一つになって、中学校区の支援について協議する場となりました。



#### 2 地域とつながる「地域との交流活動」の様子から

高綱中学校がめざす「地域も生徒も笑顔で元気になる活動」の一例として、「地域との交流活動」について紹介します。この活動は清掃・整備活動や交流活動等を通し、地域で育ち、見守られていることの自覚を持ち、地域に貢献する意識を育てる事を目的に、年に2回実施しています。

活動場所と内容は、生徒会及びクラス代表の願いをもとに、運営委員である3地区全ての公民館主事の皆さんと協議し、決められます。また、それに関わる地域の方との打合せは電話等でなく、直接顔を合わせて行います。この“顔が見える関わり”が、地域と繋がる大切な要素となっています。



打合せ会の様子

願う姿として「頼りになる高綱中生」を掲げる高綱中学校では、この交流活動後に寄せられる地域の方の声を大切にしています。校長先生は、地域の方から寄せられた「高綱中生、すごいなあ。さすがだなあ。頼りになるなあ。」等の声を生徒に伝え、「この声が、生徒にとってうれしく、励みになっている。単なる行事、交流ができてよかったですだけで終わってしまうのではなく、また地域の方と一緒に活動したいという思いにつながる関係が生まれてきている。」と語っています。

#### 3 地域に広がるつながりと元気、笑顔

2月に第2回の運営委員会が開かれ、本年度の振り返りをしました。取組のよさや成果、課題が出され、その中の特別支援学級でのパン作り支援について、次のような報告がありました。「あるボランティアの方の誘いにより、普段、家にこもりがちだった方がボランティアに参加しました。その後、その方は元気になり、散歩したり挨拶したりするようになりました。」学校支援をきっかけに、地域の方同士にもつながりが生まれ、文字通り元気と笑顔が広がっています。

支援体制の充実、地域や家庭への周知・広報等の課題もありますが、今後もたくさんの元気と笑顔が広がって欲しいと思います。

(中信教育事務所生涯学習課 指導主事 大日野 剛)



信州型CSの立ち上げに地域の協力は欠かせません。そんな中で、多くの学校で頼れる存在として協力いただいているのが、地区の公民館です。学校と共に活躍される公民館長さんの熱い想いを紹介します。

## 小学校を中心にして 地域の絆を深める ～子どもは地域の宝 中沢の宝～

駒ヶ根市の中沢小学校は、コミュニティ・スクールに向けた学校運営協議会の設置準備とともに、「中沢小学校応援隊」を組織し、協議と協働を両輪にした仕組みづくりを進めています。『中沢小学校応援隊』の副委員長を務める中沢公民館長 所河清文さんに、お話を伺いました。



中沢公民館長 所河 清文さん

### 学校から『中沢小学校応援隊』の話があったときどう思いましたか？

中沢小学校は、明治42年、村民の寄付によって学校を建設したことに始まり、地域の力で学校を築き上げた『中沢の学び』の伝統が脈々と受け継がれている学校です。そもそも地域と共にある学校であったわけです。公民館に協力の話があったときも特に抵抗はありませんでした。今までやってきたことを整理して、体制を作っていけばよかったからです。むしろ子ども達と地域のふれあいを充実させる上で喜ばしいと思いました。



「自然と体験の会」のみなさんと畑づくり

### 『中沢小学校応援隊』と 公民館の関係は？

応援隊のメンバーは、公民館講座の参加者が半数以上です。講座で学んだことや今までの経験を学校支援に生かしています。また、それ以外の要請があれば、地域人材の紹介でもバックアップしています。公民館は様々な経験や技能を持った方が地区のどこにいても把握していますから。



小学校の玄関に掲示された応援隊のみなさんの写真

### 『中沢小学校応援隊』に期待することは 何ですか？

「中沢小学校応援隊」が始まってから、公民館では講座以外の人との交流も増え、地域とのコミュニケーションが深まりました。また、子どもたちも以前に増して公民館に気楽に来てくれるようになりました。学校を中心に地域が結束してきており、うれしく思います。これからも、中沢公民館が目指す地域の絆づくりを、小学校を中心にして深めていくことができたらと思います。また、「子どもは地域の宝 中沢の宝」です。地域住民でこの思いを共有し、「中沢を知り中沢を愛する子」を育てていきたいと思いません。



地域の方と資料館で学習

(文化財・生涯学習課指導主事 大内 敏樹)

## 信州型コミュニティスクールQ&A

Q3 信州型CSを進めるために、まずは学校支援ボランティアを積極的に取り入れていこうと思います。そこで、学校支援ボランティアをもっと集めようと思うのですが、どのように集めればよいでしょうか。また、コーディネーターも誰かにお願いしようと思うのですが、見つかりません。



A3 学校支援活動は、学校からの要望があって行われます。県内では、まずは学校でどのようなボランティアが必要か先生方でじっくり話し合い、先生方が必要と考える活動について、地域の皆さんから募集している学校があります。予めどんな活動がお願いできるか地域の方に登録していただく場合もありますが、登録してもその後学校から要請がないと期待を裏切ってしまうことになる場合もあります。

また、活動によっては、一律に募集するのではなく、今活動している方や知っている方を通じて、くちコミで集めることも考えられます。すぐには大勢集まらないかも知れませんが、確実な方法です。学校支援ボランティアは、「できるときに できる人が できることを」とよく言われます。ある程度幅を持たせてお願いしていく姿勢も継続的な活動にしていくには必要です。

コーディネーターは、学校支援活動において大変重要な役割を果たしていただきます。しかし、急ぐあまりその方の役職や経歴等だけを頼りに決めてしまうのではなく、まずはボランティア活動を通して、その方をよく知り互いの信頼関係を築く中でお願いできるといいです。それまでは、各活動の代表の方などにコーディネーターの役割を複数で担っていただく形も考えられます。

### 平成27年度 信州型CSに関わる研修のお知らせ

研修名	期 日	会 場	お問い合わせ
<b>学社連携意見交換会</b> ★信州型CSの概要と現状説明 ★信州型CSの立ち上げ・活用事例紹介 ★ 〃 〃 〃 〃 のための情報交換 <対象>教職員(地域連携担当教員)、運営委員、コーディネーター、市町村教育委員会、公民館、保護者等	6月30日(火)	佐久合同庁舎	東信教育事務所
	7月14日(火)	上田市真田中央公民館	
	8月25日(火)	諏訪市文化センター	南信教育事務所
	7月9日(木)	飯田合同庁舎	南信教育事務所飯田事務所
	6月26日(金)	松本合同庁舎	中信教育事務所
	5月28日(木)	中野市北部公民館	北信教育事務所
<b>学社融合フォーラム</b> ★学社融合及び地域で子どもを育てることについて、講演や事例発表等を通じて、学び合います。 <対象>学校・保護者・地域の皆さん	6月16日(火)	長野市ふれあい福祉センター※	※長野市教育委員会
	6月30日(火)	千曲市更埴文化会館	
	11月5日(木)	佐久勤労者福祉センター	東信教育事務所
	8月25日(火)	諏訪市文化センター	南信教育事務所
<b>学校支援コーディネータースキルアップ研修会①基礎講座</b> <b>②実践講座</b>	11月28日(土)	長野県総合教育センター	中信教育事務所
	11月29日(日)	長野市安茂里公民館	北信教育事務所
<b>学校支援ボランティア研修①学校支援ボランティアの意義と可能性</b> <b>②社会力を育てる</b>	6月9日(火)	長野県生涯学習推進センター	長野県生涯学習推進センター
	11月10日(火)		文化財・生涯学習課
	7月10日(金)	長野県生涯学習推進センター	長野県生涯学習推進センター
	10月2日(金)		

◆上記以外にも、「教職員校内研修のための出前講座」や、信州型CS立ち上げのための「信州型CSアドバイザー派遣」等、研修の機会を揃えています。お気軽に下記までお問い合わせください。

#### ■■お問い合わせ先■■

長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課 Tel.026-235-7437 e-mail:bunsho@pref.nagano.lg.jp  
 東信教育事務所生涯学習課 Tel.0267-31-0252 南信教育事務所生涯学習課 Tel.0265-76-6861  
 南信教育事務所飯田事務所 Tel.0265-53-0460 中信教育事務所生涯学習課 Tel.0263-40-1977  
 北信教育事務所生涯学習課 Tel.026-234-9552 長野県生涯学習推進センター Tel.0263-53-8822

※この資料は、下記URLよりダウンロードできますので、ご利用ください。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kvoiku/bunsho/cs.html>